



# 昭和20年の呉・ヒロシマ・横浜 を体験した少年少女たち

## ～あの日あの時あの場所で

映画「この世界の片隅に」の舞台となっている昭和20年当時の広島と呉での原爆・空襲体験を、当時17歳の少年と12歳の少女だった桃井夫妻が、そして横浜大空襲を逃げるのびた体験を当館の小泉館長が研究者の視点で語ります。その後3人による座談会もあります。戦後75年の今だからこそ聞いておきたいお話です。



右：桃井完二さん

昭和3年宮島生まれ（現在91歳）。学徒動員中の広島で、爆弾投下当日、爆心地を通り抜けた所で被爆した経験を持つ。大田区にある久が原教会の牧師、こひつじ幼稚園園長として27年子どもの教育に尽力。

左：桃井綾子さん

昭和7年呉生まれ（現在87歳）。昭和19年7月まで、父親の仕事の関係で海軍の町・呉に暮らす。元こひつじ幼稚園副園長として長年夫を支える。紛争地フォトジャーナリスト・桃井和馬氏の両親でもある。



小泉和子

昭和8年文京区生まれ（現在86歳）。昭和20年当時11歳。疎開先の横浜で空襲に遭い、妹を背負って逃げ延びる。現在昭和のくらし博物館館長。生活史研究所主宰。

# 2020年 2月22日（土）午後1:30～4:00

会場：大田区役所 鶴の木特別出張所

大田区南久が原2丁目30-5（昭和のくらし博物館より徒歩1分）

参加費：一般1,000円／高校生以下無料

（博物館の常設展・特別展の入館料込）

申込：要予約（定員50名）氏名・年齢・電話・住所・メールアドレス  
をご記載の上、下記博物館までお申込みください。

主催・申込：NPO法人昭和のくらし博物館

協力：もみじふれあい元気塾



©2018この時代の双葉社／「この世界の片隅に」製作委員会

映画の上映はありません。ご了承ください。

昭和のくらし博物館（登録有形文化財）

〒146-0084 東京都大田区南久が原2-26-19

開館 金・土・日曜日・祝日 10:00～17:00

tel/fax 03-3750-1808（開館時間内）



mail@showanokurashi.com  
http://www.showanokurashi.com/

昭和26年建築の木造2階建の庶民住宅と家財道具を保存し、丸ごと公開している博物館。昭和30年前後のくらしの常設展示・企画展・特別展の他、くらしを考える講座を随時開催。

